

- (1) **Do**  
doは多くの動詞の代わりに使われます。この場合「☒ をしなさい」という一般的な命令になります。

---

- (2) **to bring**  
forgetの後はto不定詞がきます。don't forget to ☒ で「☒ するのを忘れないでね」という意味になります。

---

- (3) **noisy**  
noisy(うるさい)は形容詞で、be動詞の後に来ます。

---

- (4) **at**  
look atで「☒ を見る」という意味になります。atは前置詞です。

---

- (5) **on**  
on the phoneで「電話で」という意味になります。

---

- (6) **games**  
Let's notで「☒ しないでおきましょう」という否定の提案になります。

---

- (7) **Please write carefully.**  
Pleaseを文頭に置き、その後に動詞とその他の要素が続きます。

---

- (8) **Please sit at the desk.**  
Pleaseを文頭に置き、その後にsit atが続きます。

---

- (9) **Don't sing a song.**  
Don'tで始まり、その後に動詞と目的語が続きます。

---

- (10) **ア. Don't forget your homework.**  
忘れるという動詞の後に直接目的語(your homework)が続きます。

---

- (11) **ア. Let's sing together.**  
Let's + 動詞で「☒ しましょう」という提案を表します。

---

- (12) **ウ. Look at the textbook.**  
look atで「☒ を見る」という意味になります。前置詞atが必要です。

---

- (13) **イ. Please don't play in class.**  
丁寧な否定の命令文はPlease don't + 動詞の形になります。

---

- (14) **Let's join the afternoon competition.**  
Let's + 動詞で「☒ しましょう」という提案を表します。

---

- (15) **Don't handle things roughly.**  
否定の命令文はDon't + 動詞で始まり、その後に細部が続きます。